

野球部員コメント②

赤鬼の春の始動



速報新聞
発行所

キマグレ

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

西村圭輔君

甲子園出場はずっと目標にしていたことなので、達成できて素直にうれしい。これからの練習では、個人としては全国に通用するような選手を目指し、チームとしては普段から一人ひとりが課題などを指摘し合って、チーム力を高めていけるように頑張りたい。

板倉佑安君

けがの手術をしたため去年の秋季大会では何もできなかった。去年の甲子園でホームランを打った仲川さんも2年の秋にけがで手術をしていて自分と境遇が似ているので、仲川さんのように頑張りたい。けがをしてチームのために何もできなかった悔しさを試合でぶつけたい。

宇野壺一郎君

冬の間はスイングスピード

水谷洸太郎君

を上げるためにバッティング練習やウエイトトレーニングを頑張ってきた。また食事面では、栄養が考えられた「部食」というメニューを週に1回食べて体に気を配ってきた。センバツでは先輩方の一勝という記録を超え、自分たちらしいプレーを全国の人に見せたい。

今井怜典君

選ばれたと聞いたときは素直にうれしかった。冬の間はすべての練習を頑張ってきたが、特にバッティング練習と

松永恭典君

体づくりを意識して練習した。センバツでは思い切った良いプレーをしてチームに貢献したいので、再び気を引き締めて頑張っていきたい。

ほかのチームは冬の間は体

伊吹潤也君

づくりがメインで実践的な練習はあまりできていないと思うが、うちは体づくりも実践的な練習も両方やってきた。これからの練習も内容はいつも通りで、個々が「やってやるぞ」という気持ちをもつて頑張っていきたい。また先輩を超えることを目標にやってきたので、それが達成できるように全員でやっていきたい。

小山伶君

バッティングセンターが閉鎖してしまつて練習環境は前よりも悪くなつてしまったが、他校に練習場を貸してもらった。この2か月間で『公立校だから強くない』などと思われないようにしっかり準備をして、強豪校と同等に戦えるレベルまで持っていきたい。

高内希君

だ決まっていけないので、ここからが勝負だと思う。この前の県大会では走塁で取れるはずの点が取れず負けてしまったので、この2か月で詰めていきたい。先輩たちの一勝は絶対に超えたい。話題になるくらいのことをしたい。

原功征君

2季連続出場という東高にとって大きな歴史を築くことができて誇りに思う。去年の夏は地方大会で結果を残せず、ベンチメンバーに入れなかった。そのときの悔しさが今につながっている。夏の悔しさを晴らすためにも全力でチームの雰囲気を作っていきたい。先輩以上に強くなりたいので、まずはセンバツで二勝以上を目指す。

夏の大会が終わってからセンバツにどうしても出たいという思いを強く持っていたので、出場できるのは素直にうれしい。冬の間はピッチングのフォームを試行錯誤しながら練習に取り組んでいた。夏と同じ全国の舞台で戦えるので、夏に負けた悔しさを晴らすチャンスをもたらえたと思つて頑張りたい。